

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和5年9月21日（木）16：25～17：20
3. 場所：原子力規制庁7階会議室
4. 出席者：

原子力規制庁	
技術基盤グループ	
技術基盤課	佐々木企画調整官、藤澤技術参与(テレビ会議システムによる出席)、戸田係員
システム安全研究部門	小嶋統括技術研究調査官、橋倉上席技術研究調査官(テレビ会議システムによる出席)
検査グループ	
専門検査部門	森田上席原子力専門検査官

原子力エネルギー協議会 理事 他8名
 北海道電力株式会社 原子力設備グループ グループリーダー 他1名
 関西電力株式会社 保全計画グループ マネジャー 他2名
 四国電力株式会社 原子力部 設備保全グループ 副リーダー
 九州電力株式会社 原子力発電本部 原子力経年対策グループ 副長 他2名
 日本原子力発電株式会社 発電管理室 設備管理グループ 課長 他1名
 東京電力ホールディングス株式会社
 原子力設備管理部 原子力安全技術グループ マネージャー 他3名
 日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社 原子力制御計画部 主任技師 他1名
 東芝エネルギーシステムズ株式会社
 原子力安全システム設計部 担当部長 他1名
 株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン
 炉心設計部 チーフスペシャリスト 他1名

5. 要旨：
 - 9月14日の ATENA 面談において、米国 H.B. ロビンソン原子力発電所2号機の炉心さうの割れに関し、産業界の当面の対応について説明を受けた。
 - ATENA より、資料1のとおり、国内PWRにおいて「起こりえる最悪の事態」として、出力運転中、当該溶接線が全周破断し、炉心槽が完全分離するケースを想定しても、プラントは安全停止できるとした点について、具体的な説明を加えたとの説明を受けた。

6. 配布資料：

資料1 H.B ロビンソン2号機 炉心槽割れに関する事業者の受け止めについて